

2023年3月21日発行

23-12号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**心が安らぐには**

昨年の小中高生の自殺者数が５１４人だったという厚労省の発表がありました。それに関しての記事が19日の朝日新聞の天声人語にありました。

「･･･学業不振や進路の悩み、友達や親との不和といった原因から見えるのは、将来への不安と支える人の不在だ。コロナでつながりが減った一方、家にはストレスを抱えた親がいる。相談する場が必要だ▼その窓口が電話主体であることについて、ＮＰＯ「あなたのいばしょ」の大空幸星（おおぞらこうき）さんが貴重な指摘をしている。いまの子どもは電話を使わない。友人との会話もＳＮＳなのに、深刻な悩みを電話で打ち明けられるだろうかと▼求められているのは声より、チャットによる文字でのやりとりなのだ。子どもの伝達手段が進化しても、受け止める大人が追いつけているか。希望が持てる社会にできていないことにも、責任を感じる･･･」

この記事には、サザンオールスターズの桑田佳祐さんの歌詞集『ただの歌詩（かし）じゃねえか、こんなもん』に寄せた解説で、作家の村上龍さんが書いていることばも紹介してありました。「歌は革命を起こせない。しかし、歌は、自殺を止める力を持っている」、「日本はずっとずっと貧乏で、本当は今も貧乏なのだ。本当に豊かならば、十人の桑田佳祐がいて、十のサザンがあるだろう」ということです。（３月１９日朝日新聞天声人語より）

大人が将来を不安に思う子どもを支えられずにいること、また、日本の本当の姿は貧乏なのだということが書かれています。それが、ほんとうに子どもたちの自殺の原因なのでしょうか。子どもたちを取り巻く環境が厳しくなっていることは、事実です。大人も、自分が生きるので必死です。しかし、たとえしっかりと支える大人がいても、歌によって少しの間は安らいだとしても、子どもたちの心が満たされ続けることはありません。お金がないから貧乏なのでもありません。精神的に、心が空っぽで苦しいのです。だれがいても、なにがあっても、心が満たされず、どうしようもないのです。そのとき、自分を殺すという選択をするしかないように追い込まれていきます。

なぜ、心が空っぽなのでしょうか。なにが自分を殺すという選択をするように追い込むのでしょうか。本当の問題の原因はなにかを正しく知らないと、正しく心が安らぎ続けることはできません。真理を知れば、どうしようもない心が本当に根本から解放され、力を受けます。そうすれば、人や環境がどうであっても、安心して生きることができるようになります。あなたの心を満たし、安らぐようにするために本当に必要なことはなにかをお分かちしたいのです。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください